

大学名 国立大学法人 愛媛大学

第74号 特集タイトル
「未来社会に向けた教員養成」

表題 教職大学院を核とした教師人材の高度専門職化

特色ある取組:教師人材の高度専門職化

愛媛大学教職大学院では、全国の教職大学院で初めて学部卒業者を対象とする「1年修了プログラム」を令和7年度より導入し、5年一貫の教員養成を実現しています。本学教職大学院では、通常の2年修了、さらに3年修了の選択肢も用意されており、自己が描く**教職キャリア**を実現に導くプログラム選択が可能です。

現職教員は地域の教育リーダーとして、学部卒業者は数年後には校内リーダーとして活躍できる**高度専門職人材**となるために、職能成長課題と研究課題に挑戦します。研究指導では、学会発表を目標とする充実した指導体制を構築しています。

教職大学院生(学部卒業者)の約85%は愛媛大学の学部出身です。半数は**教育学部**の学生であり、学部から教職大学院に進学しています。残りの半数は理学部や法文学部等の学生であり、これらの学部では習得困難な、より高度で実践的な教科指導法、学級経営、生徒指導、教育相談、ICT教育、教育データサイエンス等を、教職大学院で学びます。

教育学部段階での教師人材確保の取組

地域教員希望枠入試の導入(令和9年度入試から実施予定)

- 地域の高校を対象とした「地域教員希望枠入試」を導入します。大学で地域創生プログラムを履修し、ふるさとの教師を務める教育リーダーを育てます。



高校の教員養成コース等との接続(令和11年度入試から実施予定)

- 地域の高校に設置される「教員養成コース/プログラム」との接続を図ります。大学院進学を要件とする特別入試を予定し、高度専門職としての教師人材を育てます。

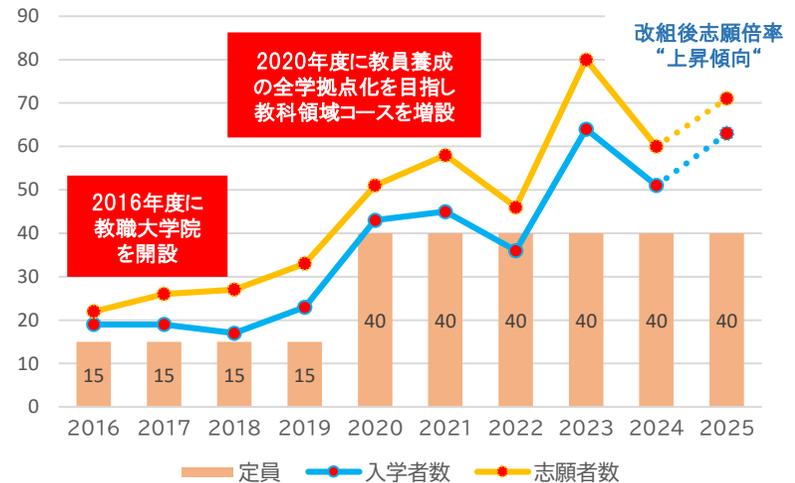


高校の課題研究支援事業の展開

- 松山市及び同市近隣自治体の高校を対象として、学部生・院生による「課題研究支援」を行います。教師を目指す先輩との日常的な交流が教職意欲を高めます。



愛媛大学教職大学院定員・入学者数・志願者数の推移(R6.11時点)



教職キャリアデザイン/支援の取組

- 教職大学院では、1週間に2日、実習校で学びます(連携校実習)。実習校において、多くの先生方とかかわり、教職キャリアの多様性を経験的に学びます。
- 教職大学院履修証明プログラムや学会に参加することで、様々な地域・キャリアの教職員(外部人材を含む)とネットワークを形成しています。
- 教職キャリアの適応状況を、オンライン調査と訪問調査で徹底的に追跡・支援します。修了後もキャリア成長を支え続ける「20年フォローアップ支援体制」の構築を目指しています。